

奈良県健康長寿共同事業の実施状況

・広域連合と県からの負担金(各1/2)で運営
H28予算:18,980千円
・広域連合内に事務局を設置

奈良県健康長寿共同事業実行委員会
(H23.4.8 設立、会長:後期高齢者医療広域連合長)
高齢者の健康維持・増進に向けた取組を推進

「なら健康長寿基本計画」等県健康長寿関連計画に掲載

研究

取組方策研究事業

「有識者会議」で高齢者の症状に応じた予防改善方策を研究。

研究テーマ:食べる能力と社会参加

高齢者の口腔機能と心身の健康との関連性等を分析

- (1) 「口腔状態」と「物忘れ」や「身体の状態」等との関連について、県老人クラブ連合会会員のアンケート、医療費を突合し分析。
- (2) 今年度から、お口の健康診査受診者の口腔健診結果と医療費情報を突合し分析。
- (3) 「誤嚥にナラン！体操」の誤嚥性肺炎予防、転倒予防効果を調べるため、週1回実施グループと月1回グループの医療費情報を分析。

誤嚥性肺炎予防を目的とする「誤嚥にナラン！体操」の考案

“飲み込む力”を保ち、“むせる力”を高め「誤嚥しにくい体」をつくり、“全身のバランス機能や筋力”も高めて「転びにくい体」をつくる。

※ 取組状況:地域サロンなどでの実践、指導者認定、TV放映も実施。



片足で立つためのバランス運動と強くむせるときに必要な腹斜筋(腹筋の一部)の働きを高める。

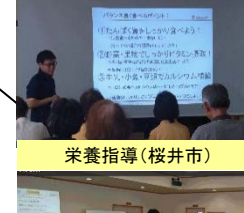
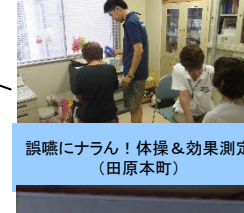
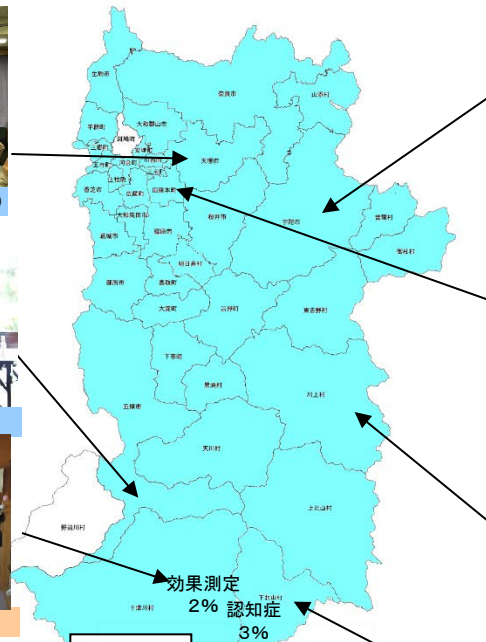
連動

地域巡回指導・普及啓発事業

実践

市町村、関係団体等と連携して地域における健康づくりに関する指導・普及啓発活動を展開。延べ37市町村内

地域のニーズに合わせて専門人材、指導内容をオーダーメイド



延べ565回(重複あり)
16,044人参加
(当初~H28年8月末)